

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 池の平ホテル&リゾート					
代表者名	氏名	矢島 義擴	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県北佐久郡立科町大字芦田八ヶ野1596番地					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	ホテル業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3,826	3,711	3,321	3,420	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	8,079	7,836	7,008	7,146	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	49		50	50	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	131				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2021	年度					

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.ikenotaira-resort.co.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

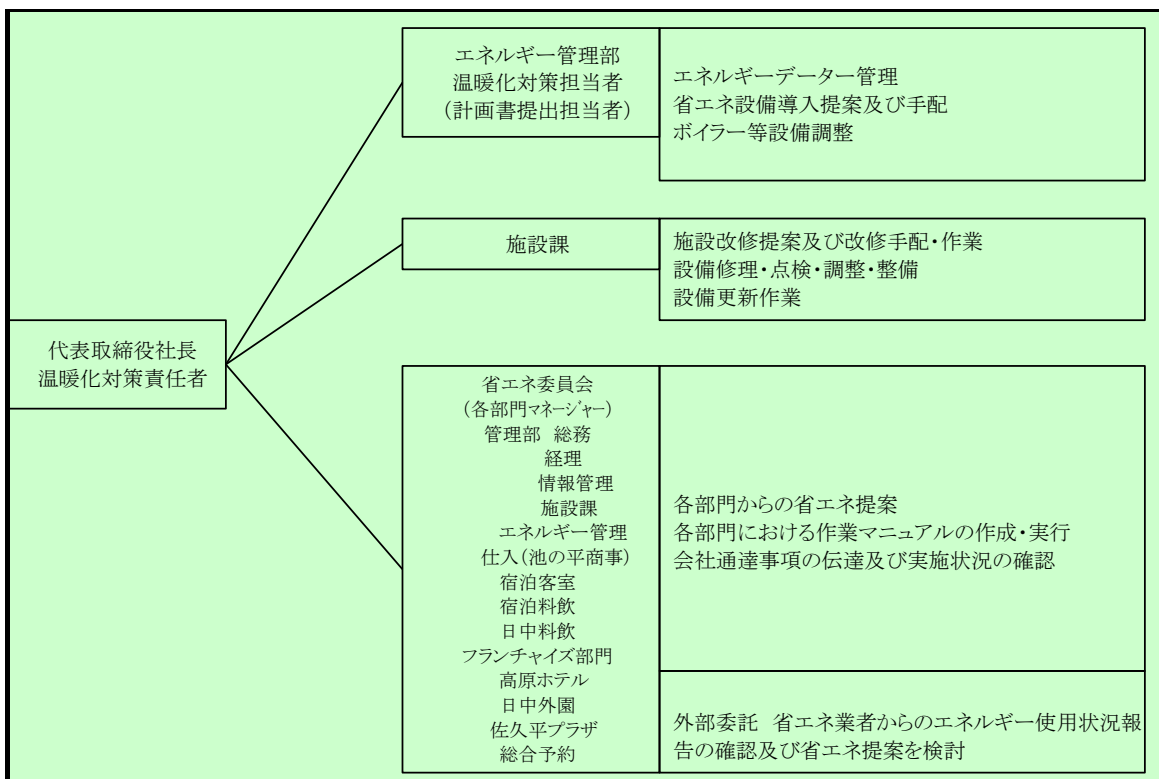
4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

旧型設備の更新並びに施設改修による、省エネルギー効果の向上

施設運用方法の改善による省エネルギー化
(運用マニュアルによる管理)

エネルギー使用量及び費用の周知による省エネルギー・経費削減意識の向上

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネ委員会 隔月1度開催

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	8,079	t-CO ₂	入場人数	173.60	単位	1万人
2019年度	調整後排出量	8,079	t-CO ₂	基準原単位	46.54	t-CO ₂ /1万人	
目標年度	目標排出量	7,836	t-CO ₂	目標原単位	33.19	t-CO ₂ /1万人	
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	28.68	%	
目標設定に関する説明	更新時期、また耐用年数を超えた設備機器の更新を計画的に実施し、更新の際はトップランナーの機器・設備の導入を行ないエネルギー効率の向上を図る。更新を行った設備機器の高効率運用の実施のため運転状態・エネルギー使用状況の把握し、運用基準の作成を図る。						
第一年度	排出量	7,008	t-CO ₂	入場人数	89.08	単位	1万人
	削減率	13.25	%	原単位	78.67	t-CO ₂ /1万人	
2020年度	調整後排出量	7,008	t-CO ₂	原単位削減率	-69.04	%	
	削減率	13.25	%				
排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの影響により、入場人数が激減したが、基本的な固定のエネルギー使用量を抑えることができなかったため、原単位が増加した。全体のエネルギー使用量は長期休館や施設運用の制限や休止等を行ったため減少となった。						
第二年度	排出量	7,146	t-CO ₂	入場人数	102.52	単位	1万人
	削減率	11.54	%	原単位	69.70	t-CO ₂ /1万人	
2021年度	調整後排出量	7,146	t-CO ₂	原単位削減率	-49.77	%	
	削減率	11.54	%				
排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの影響により来客人数が激減が続いている中、池の平ホテルの本館の建替工事開始し、解体工事を2021年5月から開始した。本館の解体によりホテル施設や宿泊者数は減少となったが、本館の売店やレストランなどの施設は他の館に移動した。また冬季閉鎖をしている日帰り施設を今シーズン冬季利用したことにより燃料使用量は例年と比較して変化がなく原単位は大幅な削減には至らなかった。						
第三年度	排出量		t-CO ₂	入場人数		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	131	t-CO ₂			単位	
2019 年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂	原単位		単位	t-CO ₂ /
2020 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	原単位		単位	t-CO ₂ /
2021 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	原単位		単位	t-CO ₂ /
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110103	管理台帳の整備	2020～2022	2		
2	エネ起	110104	目標設定、実行計画の策定	2020～2022	10		
3	エネ起	110301	計測器の設置、運用	2020～2022	27		
4	エネ起	110304	各種データ管理	2020～2022	20		
5	エネ起	120202	冷温水出口温度設定	2020	30		
6	エネ起	150103	変圧器容量	2020～2022	400		
7	エネ起	150201	照明器具を省エネタイプに更新	2020	40	2020	1
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,388	1	4,599	1	4,353		
1,500k1未満	4	2,691	5	2,409	5	2,793		
合計	5	8,079	6	7,008	6	7,146		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	
合計	0	0	0	0
自動車総数	49	50	50	
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	お客様からの宿泊予約等のお問い合わせの際に、交通機関のご案内
自転車利用促進	山間部にある事業所のため自転車利用が困難、就業中は原則徒歩による移動 お客様へレンタルサイクルを行っている。
来客者の交通対策	最寄交通機関からのお客様の自社バスによる送迎 電気自動車充電設備を設置し、電気自動車ご利用の促進を図る
物流の合理化	仕入れルートを集約する事により仕入れコストの低減及び搬入車両台数の削減を図る。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

<p>新型コロナウイルスの影響により来客人数が激減が続いている中、池の平ホテルの本館の建替工事を2021年5月から開始した。 本館の解体工事を2021年5月から行い2023年の3月に新本館の竣工予定</p> <p>本館の解体によりホテル宿泊者数は減少となったが、冬季閉鎖をしている日帰り施設を今シーズン冬季利用した、この施設の利用により燃料使用量は平年と比較して変わらなかった。</p>
